

令和 6 年度米子市文化活動館運営委員会議事録（概要）

出席者

委員：上田康則委員、寺沢一則委員、鶴木真理子委員、草瀬直美委員、竹内あつ子委員
三浦一夫委員、澤村一朗委員
文化活動館；中村館長、石原副館長
文化振興課：大塚課長、林課長補佐、岩田係長

開会（19：00）

開会挨拶 文化振興課長

出席者自己紹介 文化振興課→文化活動館→委員

会長選出

事務局から三浦委員を会長に提案 委員賛成の上決定。
三浦会長の指名により、副会長を草瀬委員に決定。

三浦会長の進行で議事開始

議事 1 令和 6 年度米子市文化活動館事業報告について

（文化活動館から資料に沿って事業報告。）

（委員）

織物入門の講座の回数が減っているが、何か理由はあるのか。

（文化活動館）

織物教室入門は同じ方が年度中に複数回受講していたため、回数を減らした。入門講座を受けた方には次の段階の初級講座を受講していただくようお願いしている。

議事 2 令和 7 年度米子市文化活動館事業計画について

（文化活動館から事業計画について説明。以下、補足。）

- ・ヨガ教室は人気があり、来年度は 3 回シリーズにする予定。
- ・弓浜絣体験は資料に「年 2 回程度」とあるが、「年 1 回程度」に訂正する。
- ・異文化体験教室に「ベトナム料理講座」を追加した。

※委員からの質問、意見なし

議題 3 その他

（委員）

長年使用しているが、楽しく使用させてもらっている。今利用している人以外にどのように利用してもらおうかが大事。現在の利用者は概ね高齢化しているが、がいな太鼓の利用者には子どもが多く、頼もしく感じる。

(委員)

がいな太鼓保存会は活動館を拠点として活動している。保存会のPRの中で、文化活動館についても取り上げていけばと思う。

(委員)

ウインドオーケストラは練習拠点である文化活動館について、SNSで発信している。この会では知名度が低いという意見が多いが、加入希望者に文化活動館の場所を伝えようしたら、「知っています」と答える人が多い。4月の提示定期演奏会でも活動館のことも紹介したい。

(委員)

子どもの居場所づくりとなる企画はいかがでしょうか。母親も一緒に来るので利用者も増えると思う。

(委員)

高齢者はスマホ、パソコンを使いこなせない人が多い。活動館の広報の方法はこれまでどおり紙媒体も使っていただきたい。この辺りは吹奏楽が盛んだが、小中高の児童、生徒が練習に使えるところが少ないので、活動館の利用もしてもらえばいいと思う。一方で、文化活動館の知名度が上がると、予約が埋まり、希望者が皆使えなくなるのではという心配もしている。

(会長)

公会堂前の大型ビジョンで文化活動館の行事が紹介されているのを見かけた。デジタルも効果的だが、紙での宣伝は必要と感じる。

(文化活動館)

予約申し込みはアプリを活用してできるようになっている。もちろん窓口、電話でも予約可能。来年度の事業予定に弓浜絣の展示会があり、著名な作家の作品を展示するので、PRを行う。その中で文化活動館のことも取り上げたい。照明の一部をLEDに交換することも来年度予定している。

(委員)

利用率はどのようにになっているか。

(文化活動館)

防音設備のある大小の音楽室はいつも予約が入っており、平日の昼間も埋まっていることが多い。集会室も予約が入っていることが多い。一方、今回の会場である講習室、調理室、和室は比較的空いている。

(委員)

若い世代にの方に発信したいのならインスタグラムが効果的。Facebookは若い世代は

あまり使わない。PRのやり方は一つではないので、さまざまな手段を使うことが効果的。
(委員)

チラシの効果は大きい。定期演奏会でもチラシを見て来ました、と言われる方は多い。
(委員)

料理教室は、子どもを連れて参加できるなら若い方も参加できるのではないだろうか。
託児をぜひ検討してほしい。

※議事終了

(文化振興課)

モニタリングについて説明

閉会（20：15）